| 科目ナンバリング | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | イタリア語Ｉ（文法・会話） I102<br>Italian I (Grammar, Conversation) | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 片山　浩史<br>非常勤講師 NENCETTI Marco | |
| 群 | 外国語科目群 | 分野(分類) | | 使用言語 | 日本語及びイタリア語 |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 8単位 | 週コマ数 | 2コマ |
| 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） | | | | |
| 開講年度・開講期 | 2024・通年 | 曜時限 | 金3・4 | 配当学年 | 全回生 |
| 対象学生 | 全学向 | | | | |

**[授業の概要・目的]**

１年間で現代イタリア語の初級文法を習得することを目指し、前期・後期ともにテキストにそってイタリア語を学んでいく。また、外国語の使用によるコミュニケーション能力の向上や、豊饒なイタリアの文化に対する理解を深めることも本授業の目的である。
授業は、イタリア人講師と日本人講師がペアを組んで進めていく。日本人講師のもとで学習した文法事項を、次のイタリア人講師との授業の中で繰り返し口頭練習することによって確認し定着させる。

**[到達目標]**

イタリア語の基礎的な文法知識を習得し、平易な文章ならば辞書を用いて「正確に」読解できるようになる。またイタリアを旅行する際に困らない程度のコミュニケーション能力を身につける。

**[授業計画と内容]**

前期

以下の文法項目について、
１課題あたり１～２週、授業を行う予定である。

文字と発音
名詞の性と数
冠詞（不定冠詞、定冠詞）
形容詞（品質形容詞、指示形容詞）
動詞 essere / avere
所有形容詞
規則動詞(-are, -ere, -ire動詞)の現在形
不規則動詞の現在形、補助動詞
疑問詞、前置詞の使い方

後期

以下の文法項目について、
１課題あたり２～３週、授業を行う予定である。

近過去（助動詞avere/essere, 過去分詞）
比較級（同等、優等、劣等比較）・最上級（相対最上級、絶対最上級）
再帰動詞・代名動詞
補語人称代名詞（直接補語、間接補語）
半過去
命令法

イタリア語Ｉ （文法・会話） I102(2)へ続く↓↓↓

**イタリア語Ⅰ　（文法・会話） I102(2)**

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

評価の方法
前期、後期の最後に行う期末試験の成績に平常点評価を加味して評価を行う。
（二人の教員がそれぞれ評価したものをあとで合算する）

評価の割合（評価基準の詳しい割合については授業中に指示する）
筆記試験の成績：後期テストをより重視する
平常点評価：授業中の小テストの成績も平常点に加える

なお、出席状況が著しく悪いものは期末試験を受ける資格を失うものとする。

**[教科書]**

授業中に指示する
初回の授業時に説明するので必ず出席すること。

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

毎回必ず30分から1時間程度の復習をすること。
また、動詞の活用などについて小テストも適宜実施するので、説明に従ってよく確認して臨むこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

授業時には大きな声での発音を求める。また積極的な質問を期待する。
イタリア文化に広く興味を持って授業に臨んでほしい。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。